

8日 火曜

エレミヤ

29:24 あなたはネヘラム人シェマヤに次のように言わなければならない。

29:25 「イスラエルの神、万軍の主は、次のように仰せられる。あなたは、あなたの名によって、エルサレムにいるすべての民と、マアセヤの子、祭司ゼパニヤ、および、すべての祭司に次のような手紙を送った。

29:26 『主は、祭司エホヤダの代わりに、あなたを祭司とされましたが、それは、あなたを主の宮の監督者に任じて、すべて狂って預言をする者に備え、そういう者に足かせや、首かせをはめるためでした。

29:27 それなのに、なぜ、今あなたは、あなたがたに預言しているアナトテ人エレミヤを責めないのですか。

29:28 それで、彼はバビロンの私たちのところに使いをよこして、それは長く続く。家を建てて住みつき、畑を作ってその実を食べなさいと、言わたのです。』」

29:29 ・・祭司ゼパニヤがこの手紙を預言者エレミヤに読んで聞かせたとき、

29:30 エレミヤに次のような主のことばがあった。・・

29:31 「すべての捕囚の民に言い送れ。主はネヘラム人シェマヤにこう仰せられる。わたしはシェマヤを遣わさなかったのに、シェマヤがあなたがたに預言し、あなたがたを偽りに抛り頼ませた。

29:32 それゆえ、主はこう仰せられる。『見よ。わたしはネヘラム人シェマヤと、その子孫とを罰する。彼に属する者で、だれもこの民の中に住んで、わたしがわたしの民に行なおうとしている良いことを見る者はいな



い。・・主の御告げ。・・彼が主に対する反逆をそそのかしたからである。』」

主の御心を伝えるエレミヤに敵がいました。シェマヤというにせ預言者です。彼は人々が喜ぶことを語り、危機感を与えたエレミヤを責めるように手紙さえも送りました。

人の歓心を買おうとするなら、このような間違いに陥ります。逆に主の御心を行うならば、反対者の妨害に会うことがあるのです。その最後はどうなるかが、32節にある答えです。主が「罰する」のです。

人を恐れず、また人の歓心を買うことをせず、ただ主の御心を行いましょう。一時は不利になったようでも、最後は主の祝福と回復に与ります。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

